授業名	**生物学の世界**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	Biology		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	2 単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	伊藤 靖夫		
副担当教員氏名	今津 道夫		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	学士の称号にふさわしい，生物学に関わる基礎的学力が身についていることを実感できるようになる。
	β　信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	信州の豊かな自然の中で観察される生き物の関わりを，分子から個体間の相互作用として，自分の言葉で表現できるようになる。
	γ　信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度	⇔	信州の豊かな自然の中で観察される生き物の関わりについて，過去から現在，将来にわたる姿の理解を前提として，課題を発見，解決策を提示できるようになる。
授業の概要	この科目は「生物学」なので,「生物とは何か?」という問いを起点とする。それに対して，ミクロとマクロの視点から答えるために，遺伝学，生化学，細胞生物学，進化学，分類・系統学，生態学の各分野にわたって高校「生物基礎」の内容を踏まえつつ解説する。		
授業の計画	第 1 回	生物の定義	
	第 2 回	メンデルの遺伝学	
	第 3 回	遺伝子としての DNA と構造	
	第 4 回	セントラルドグマ	
	第 5 回	タンパク質の高次構造と機能	
	第 6 回	細胞の構造	
	第 7 回	細胞周期	
	第 8 回	変異と損傷修復系	
	第 9 回	生物多様性と生物進化	
	第 10 回	生物の分類と系統	
	第 11 回	生物と環境	

	第 12 回	生物の集団(個体群)
	第 13 回	動物の社会と行動
	第 14 回	生物群集
	第 15 回	生態系
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	動画視聴後に行うテストによって行う。 各回の講義は 3 つのセクションから構成されるが，それぞれのセクションのテストを 2 点満点とし，90 点 (15 回 x3 セクション x2 点)を 100 点に換算し，素点とする。その得点にもとづき不可から秀の判定を行う。	
事前事後学習の内容	事前学習：ShinXia-LMS に準備されている資料に目を通し，理解できない点は設置されているフォーラムから質問すること。 事後学習：テストの得点を踏まえ，講義動画を再視聴する等によって，学習内容の定着を確認し，理解を確実にする。	
履修上の注意	詳細については ShinXia-LMS に準備されているガイダンス資料を参照すること。	
教科書	指定しない。 準教科書等は ShinXia-LMS のガイダンス資料に記している。	
参考書	ShinXia-LMS のガイダンス資料に記している。	